泌尿器科の入院診療を受けられた患者さんへ

「前立腺癌に対する密封小線源療法前後の酸化ストレスマーカーおよび炎症性サイトカインと排尿機能、性機能の関連」への協力をお願い

泌尿器科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004年4月～2019年8月に当科において、前立腺癌に対する密封小線源療法を受けられた方で、「限局性前立腺癌に対する放射線治療のQOLに与える影響についての検討」、「泌尿器科癌関連エクソソーム関連タンパク解析、RNAの解析」に同意を頂いている患者さん。

研究期間：2019年9月4日～2024年8月31日

研究目的・方法：

前立腺癌に対する根治治療である放射線治療の一つに密封小線源療法があります。密封小線源療法後には一時的に排尿状態の悪化を認めます。放射線治療により活性酸素が生成され組織障害を起こしますが、活性酸素は骨盤内の血流障害を惹起し、排尿障害や性機能障害の原因となることがわかっています。本研究では活性酸素による組織障害のマーカーである酸化ストレスマーカーや炎症性サイトカインを血液、尿で測定し、排尿、性機能に関する生活の質（QOL）や排尿機能と関連するか検討することを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類：

密封小線源療法を受けた方の、QOL調査、尿流量測定、過去に保存した血清、尿を使用します。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科
電話番号 058 - 230 - 6338
氏名：飯沼 光司
研究責任者
岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科
氏名：飯沼 光司